

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（共通）

項 目	共通	対象学年	2年	場所	カレッジホール
テーマ	生命といのち				
講 師	岡田安弘（神戸大学名誉教授）				
<p>講義内容</p> <p>「生命と何だろう」「いのちとは何だろう」という問は、たとえ口に出さずとも、無意識のうちに誰もが心に抱いている問題です。広辞苑をひくと、生命とは「生物が、生物として存在することができるゆえんの根源的な属性（特性）として、感覚、運動、成長、増殖のような生活現象から抽象される一般概念である」と記されています。これは生命をきわめて生物学的な観点から定義しているものと思われます。一方いのちとは「生命の生きてゆく原動力」「もっとも大切なもの」と書かれています。これは生物学的な説明ではなく、むしろ生命の意味、生きていることの意味を考えた上での定義でしょう。今回の講義では、著しく発展してきた生命科学の歴史をふりかえりながら、不思議ともいえる「生命」の生物学的な成り立ちとはたらきを説明し、それに対して「いのち」とは何かを皆さんとともに考えてみたいと思います。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>この講義が、限りある生命を生きている「自分」とは何かを考える糸口となって下さればありがたく思います。</p>					